

決算審査意見書

議会選出監査委員 鹿島 功
代表監査委員 松本正博

平成21年7月31日から8月24日までのうち9日間、町長から提出された平成20年度一般会計、特別会計、企業会計の21会計の決算書及び関係調書について、関係職員の説明を受けながら、慎重に審査を行いました。

審査の方法

- (1) 決算計数について
町長から提出された決算書・関係調書等について、(1) 決算計数は正確で誤りがないか。
(2) 予算は、関係法令に基づき効果的かつ的確に執行されているか。
(3) 事務事業は、関係法令に基づき適正かつ計画的に執行されているか。
(4) 財産の取得、管理、処分は、適正に行われているか。

- (1) 決算計数について
審査を行った21会計の決算は、関係法令に準拠して調製され、計数も誤りは認められなかつたため、すべて適正であることを認めた。



監査委員による現地視察

執行状況について

- (1) 決算計数は正確で誤りがないか。
町道種原大野線道路整備に、教育環境の整備では、名和中学校耐震補強及び大規模改修工事等に取り組まれた。

主な指摘事項

住環境の整備面では、地方道路臨時交付金を活用して町道山村文珠領線、町道種原大野線道路整備が、堅実な財政運営により、基金の増加や公債費の減少が図られている。

財政面では、地方交付税制度の見直しや長引く経済不況により税収入の落ち込みや、多額の基金取りくずしが予測されたが、堅実な財政運営により、基金の増加や公債費の減少が図られている。

(3) 高齢化、少子化により、伝統・文化・コミュニティ活動など、地域の活力や集落機能が低下しつつある。

(4) 様々な医療制度の改正に伴い、検診内容・方法がグリーンツーリズム、所子工業団地への企業誘致、若者向け住宅の建設等、総合的・多角的な施策により、地域活性化のための方策を実現されたい。

空地・空家を活用した利活用や、維持管理に多大な経費を要する町有地の売却を含めた処分を検討されたい。

(別表)

平成20年度決算滞納状況

(単位：万円)

区分	平成20年度	平成19年度	増減額	増減率	不納欠損額
(一般会計)					
町民税	2438万円	2212万円	226万円	1.10	354万円
法人町民税	81万円	70万円	11万円	1.16	0
固定資産税	7682万円	7440万円	242万円	1.03	530万円
軽自動車税	266万円	258万円	8万円	1.03	9万円
町営住宅使用料	582万円	437万円	145万円	1.33	0
保育料	21万円	26万円	△5万円	0.81	1万円
給食費	72万円	90万円	△18万円	0.80	0
その他(清掃手数料・農地費分担金ほか)	49万円	17万円	32万円	2.88	0
一般会計小計	1億1191万円	1億0550万円	641万円	1.06	894万円
(特別会計)					
住宅新築資金等貸付金	3億0660万円	3億0347万円	313万円	1.01	0
開拓専用水道使用料	52万円	54万円	△2万円	0.96	0
老人居室整備資金貸付金	139万円	149万円	△10万円	0.93	0
国民健康保険税	1億4830万円	1億4985万円	△155万円	0.99	392万円
介護保険料	362万円	607万円	△245万円	0.60	0
農業集落排水加入負担金	121万円	129万円	△8万円	0.94	0
農業集落排水使用料	182万円	198万円	△16万円	0.92	0
公共下水道事業加入負担金	78万円	80万円	△2万円	0.98	0
公共下水道事業使用料	1240万円	1352万円	△112万円	0.92	0
その他(督促手数料・延滞金ほか)	56万円	43万円	13万円	1.30	0
特別会計小計	4億7720万円	4億7944万円	△224万円	1.00	392万円
一般会計・特別会計合計	5億8911万円	5億8494万円	417万円	1.01	1286万円
(水道事業会計)					
水道使用料	2717万円	2717万円	0	1.00	312万円
滞納額総合計	6億1628万円	6億1211万円	417万円	1.01	—
			不納欠損額合計		1,598万円